



EUのプログラム： 東アジア共同体への示唆となるか？

広報部

ルディ・フィロン

マリ＝エレーヌ・ヴァレイユ

科学技術部

バーバラ・ローデ

駐日欧州連合代表部

2010年2月17日



本日のテーマ

- 1) 青少年交流プログラム
- 2) 教育プログラム
- 3) 研究協力プログラム





教育・文化・多言語主義・青少年担当の新欧州 委員会委員：アンドウラ・バシリウ委員





青少年交流プログラム





仏独の青少年交流プログラム

- 仏独協力条約（「エリゼ条約」、1963年）により、仏独青少年交流センター（FGYO）が設立される
- 目的： 両国の青少年交流および相互理解の強化
- 約30万の交流プログラムにドイツとフランスの若者800万人が参加
- FGYOの成功を受け、1991年にはドイツ・ポーランド青少年交流センター（GPYO）が設立される



EU: 青少年行動計画 (Youth in Action)

- 目的: 欧州の青少年に欧州市民としての意識および連帯と寛容の精神を養い、EUの将来の形成に参加
- 青少年行動計画 (Youth in Action) は、青少年のための交流プログラムに資金提供を行う
- 総予算は7年間 (2007-2013年) で8億8,500万ユーロ



教育プログラム






エラスムス計画

- EUの主要な教育・訓練プログラム
- 毎年18万人以上の学生が外国で学習や研究を行っている
- 学生だけではなく教員や職員も対象
- EU全域を対象に、高等教育機関間の協力を支援
- 欧州の大学の約90%が参加。1987年の発足以来、参加学生の累計は200万人超



エラスムス計画

- 2007-2013年には、エラスムスはEUの生涯学習プログラム(総予算70億ユーロ)に含まれる
- 生涯学習プログラムに含まれる4つの計画:
コメニウス(Comenius)、エラスムス(Erasmus)、レオナルド・ダ・ヴィンチ(Leonardo da Vinci)、グランドヴィヒ(Grundtvig)
- エラスムスは、欧州の高等教育の近代化の原動力となるとともに、ボローニャ・プロセスの成立を促した



ボローニャ宣言： エラスムスに大きく 影響を受けて成立

- 容易に読みかえおよび互換ができる学位システム（学位補足資料：Diploma Supplement）
- 学部と大学院の2つの主要学位課程
- ECTS等の単位システム
- モビリティ（流動性）の促進
- 高等教育の質保障における欧州協力
- 高等教育における欧州的側面の強化





大学の近代化： ボローニャとリスボンとの連携

- ボローニャ・プロセス：
2010年までに欧州高等教育圏(EUR 46)を形成
- 成長と雇用のためのリスボン戦略：
2010年までに知識社会を形成(EU 27 + 6)
- 3つの主要な改革：
 - 1) カリキュラムの改革(ボローニャ)
 - 2) ガバナンス面での改革(自立性と説明責任)
 - 3) 資金調達面での改革(公共および民間資金、企業、学生負担)



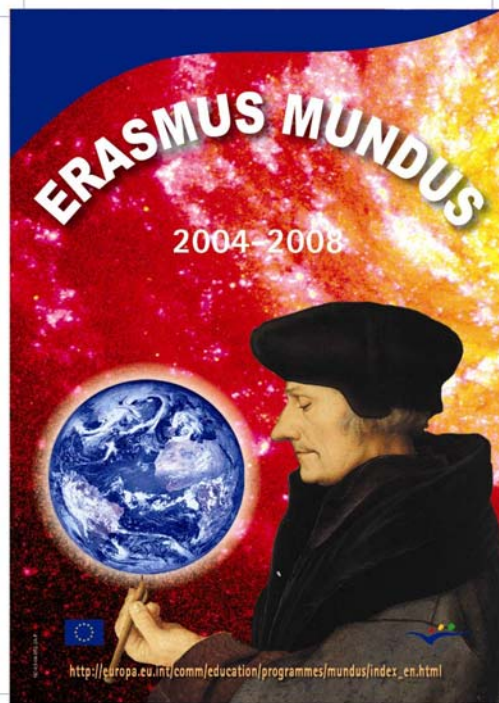


将来に向けた新しい目標

- 2009年4月、ルーヴァンで開かれたボローニャ・プロセス参加国の閣僚会合は2020年に向けて、次の目標を設定した
 - 「20 by 2020!」 高等教育課程修了者の20%が外国での学習経験、または外国で働いた経験を有するようになること
 - 2020年までに参加機会に恵まれないグループ(少数者)の参加を拡大するために、各国が測定可能な目標を設定すること



エラスムス・ムンドゥス・プログラム



- エラスムス・ムンドゥスは、世界中の学生と研究者のモビリティを支援
- 新プログラム(2009-2013)の目標は:
 - 欧州の高等教育の発展
 - 学生のキャリアの将来性の向上
 - 学術協力を通じた異文化理解の促進
- 日本の大学・学生も対象



エラスムス・ムンドゥス

エラスムス・ムンドゥスの基礎（2004-2008年）

- 103のエラスムス・ムンドゥス修士課程プログラム(468 大学)
- EU域外学生(6,181名)＋研究者(1,121名)を対象とした7,000件の奨学金
- 134のEU域外高等教育機関との 47のパートナーシップ
- EUの学生／研究者を対象とした約1,500件の奨学金
- EUの高等教育の魅力拡大を目的とした54のプロジェクト

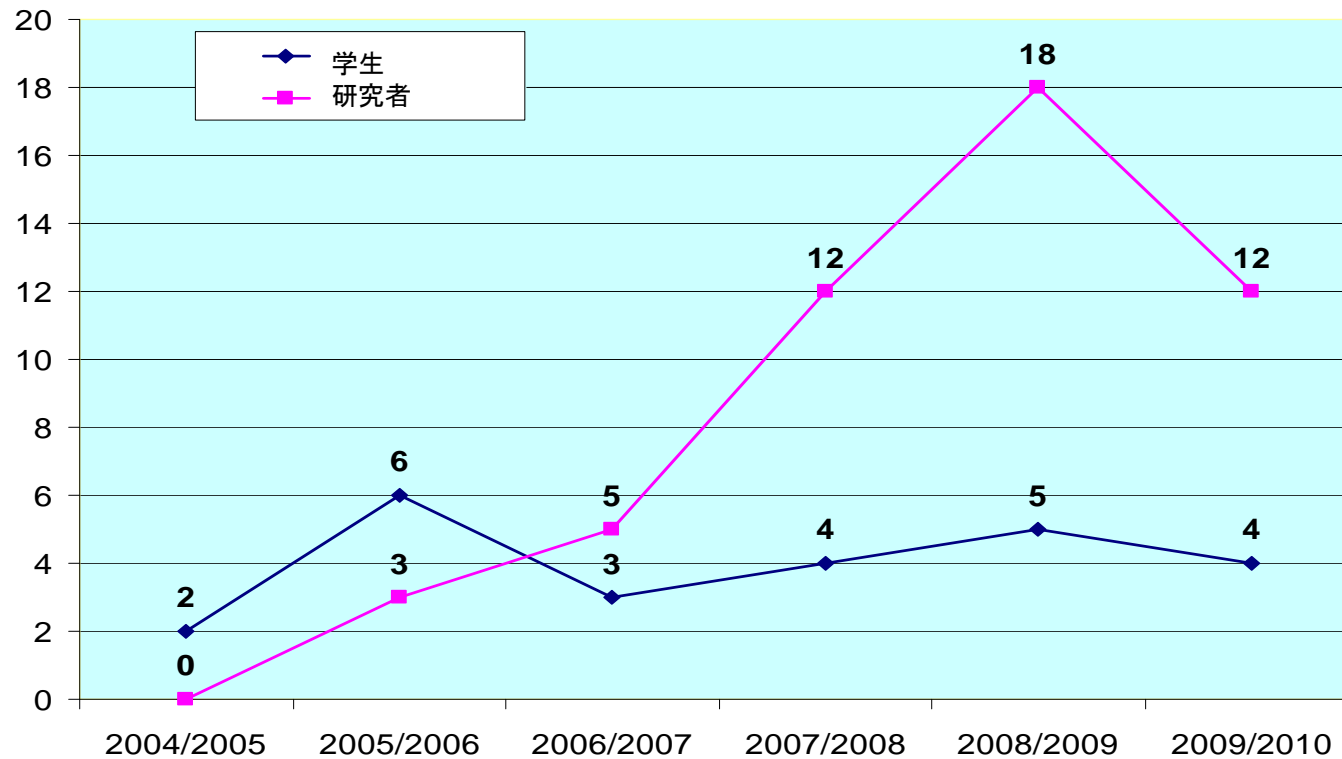


エラスムス・ムンドゥス (2009-2013年)

- エラスムス・ムンドゥス修士課程プログラム(予定 = 150)
- エラスムス・ムンドゥス博士課程プログラム(予定 = 35)
- EU内外の学生及び研究者対象の全額奨学金
- EU域外学生対象の奨学金の額はEU学生よりも高額
- EUと東アジアを含む特定地域のEU域外国の高等教育機関間の大規模なパートナーシップ
- 予算: およそ 9億5千万ユーロ



日本からのモビリティ:2004-2009年





日本からの参加大学：2004-2008年

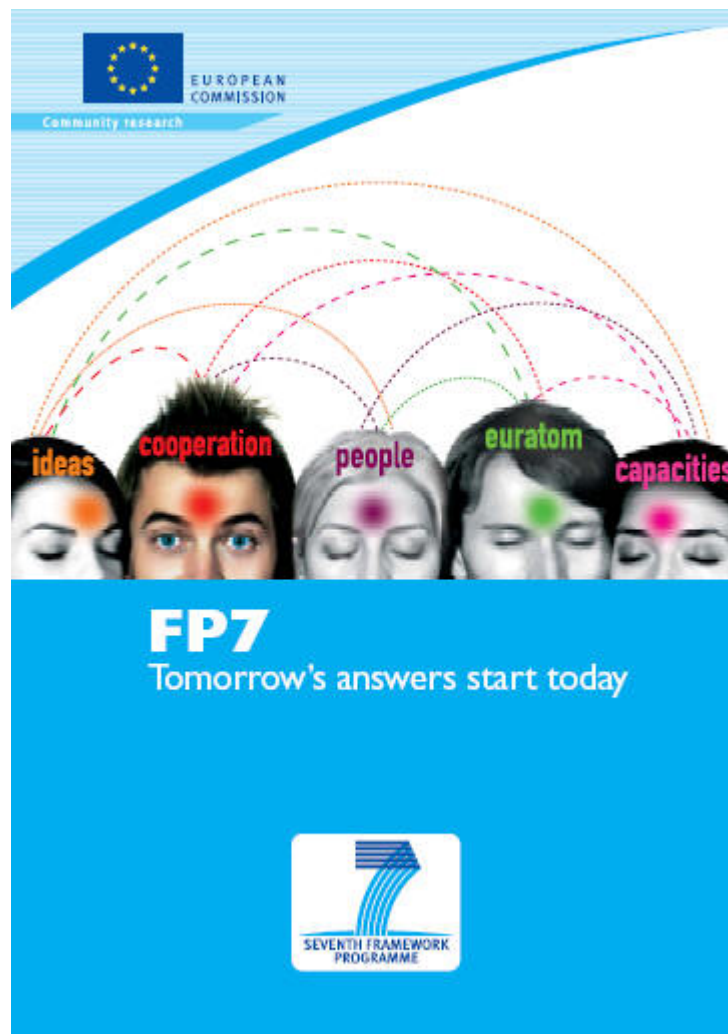
大学	コンソーシアム
東京大学	Spacemaster, EMMSP – Photonics
山梨大学	PaMaSelf
京都大学	PaMaSelf
法政大学	Phil-AF
桜美林大学	HEEM
大阪大学	EUROCULTURE
慶應義塾大学	EMARO



日本からの参加大学: 2009年

プログラム	機関	コンソーシアム
修士課程	大阪大学	EMELE, MAPNET
修士課程	東京大学大学院理学系研究科・理学部	SpaceMaster
博士課程	早稲田大学	GEM

研究協力プログラム



研究・イノベーション担当の新欧州委員会委員： モイラ・ゲーガン＝クイン委員



EUの科学技術資金調達手段

- 25年前
- EUは「研究枠組み計画」を設立
- 目的: 27の加盟国の科学技術状況をより適切に結び付ける
- 欧州研究領域(ERA) の創設: EUの最も卓越した研究者や研究機関をつなぐ
- 全体で欧州の科学技術予算の5%未満

FP7

- 現在： 第7次研究枠組み計画(FP7)
- 世界中の国が参加できる
- そのため、
 - さまざまな国が参加するコンソーシアムに参加することができる
 - 中核を成すのは、EUを拠点とする3つ以上の機関
 - その観点から、二地域間協力も考えられる
 - 枠組み計画は、既存の手段の中で最も充実し、かつ最も開かれたもの
- 世界中の野心的な研究者にとって大きな魅力



第7次研究枠組み計画 (FP7)-

- 期間: 7年間
(ユーラトムのみ5年間)
- 予算: 53億ユーロ以上
- すべての具体的プログラムに国際的側面を取り入れる

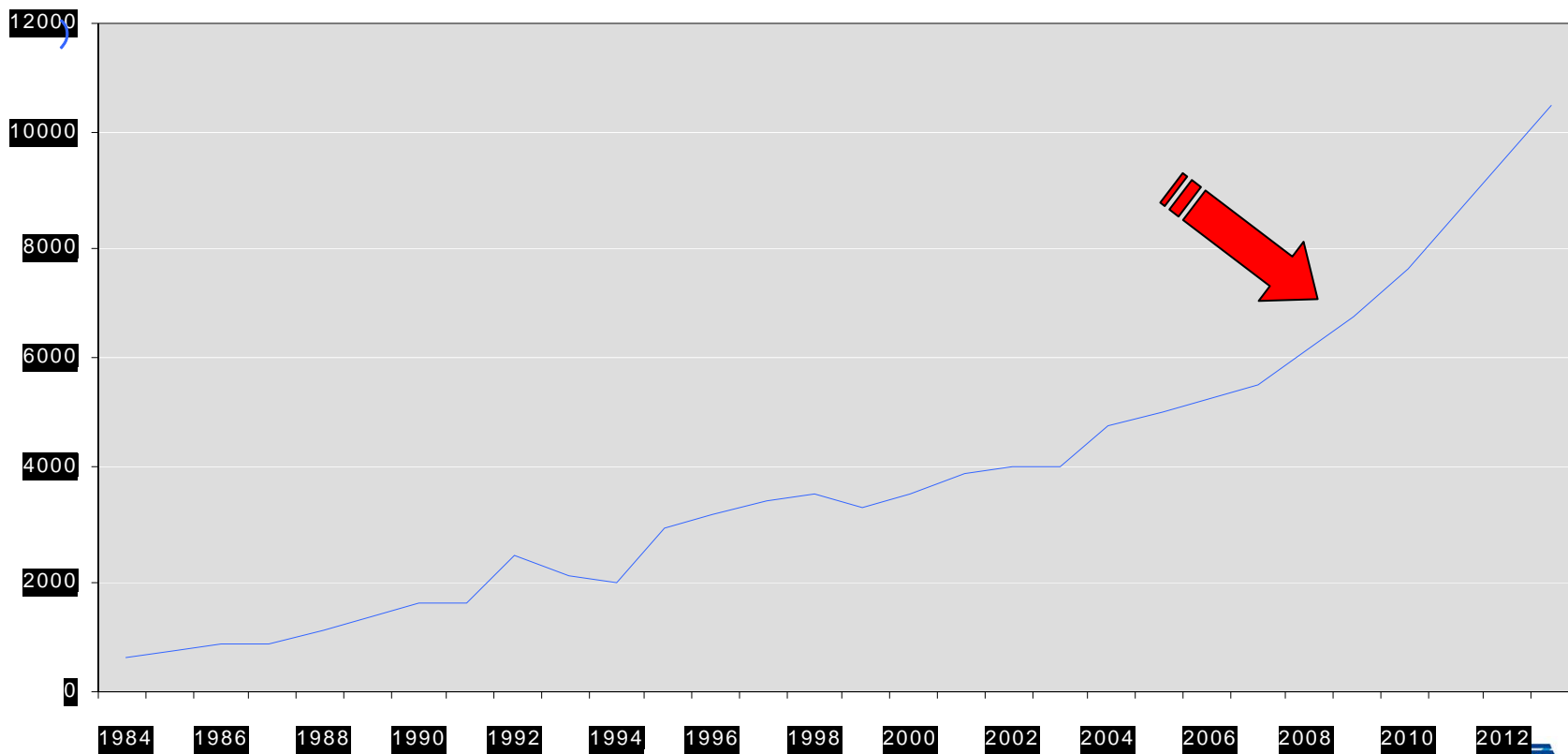


EUROPEAN
COMMISSION

Community Research

EU枠組み計画の予算 1984-2013年

ユーロ(100万)



NB: Budgets in current prices. Source: Annual Report 2003, plus FP7 revised proposal



基本原則

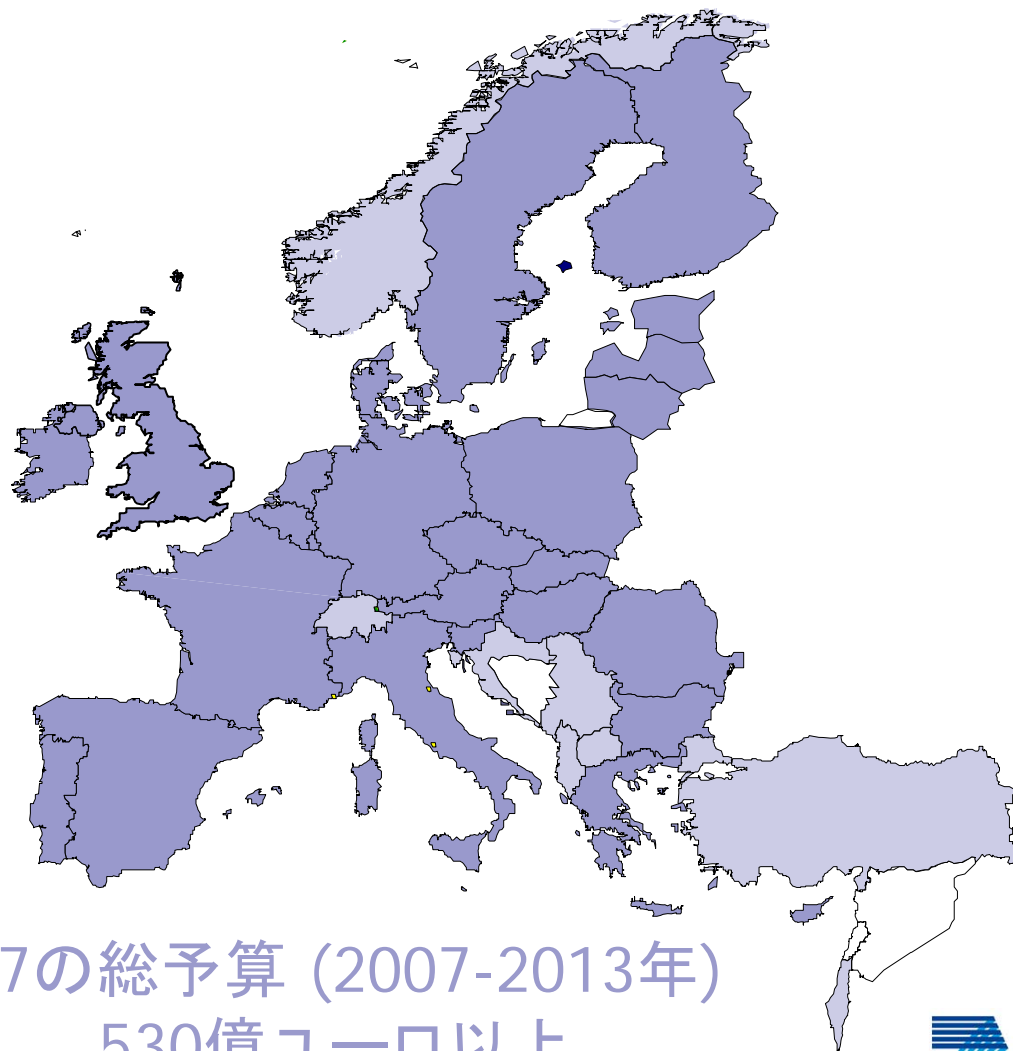
- 一般に開かれた提案募集
- 年次作業計画で発表
- 科学的な卓越性
- ピアレビューによる競争的選択
- 国境を超えた協力
- コストは分担
- 成果(の知的財産権)は参加者に帰属

第7次研究枠組み計画に貢献している関連国

■ EU27カ国

■ FP7 + 関連国 = 39カ国

- アイスランド
- ノルウェー
- スイス
- リヒテンシュタイン
- クロアチア
- トルコ
- アルバニア
- マケドニア
- モンテネグロ
- セルビア
- ボスニア=ヘルツェゴビナ
- イスラエル



FP7の総予算 (2007-2013年)
530億ユーロ以上

FP7 – 具体的なプログラム

協力 – 共同研究

構想 – 基礎研究 (ERA: 欧州研究評議会)

人材 – 人間の潜在能力 (マリー・キュリー・アクション)

能力 – 研究能力

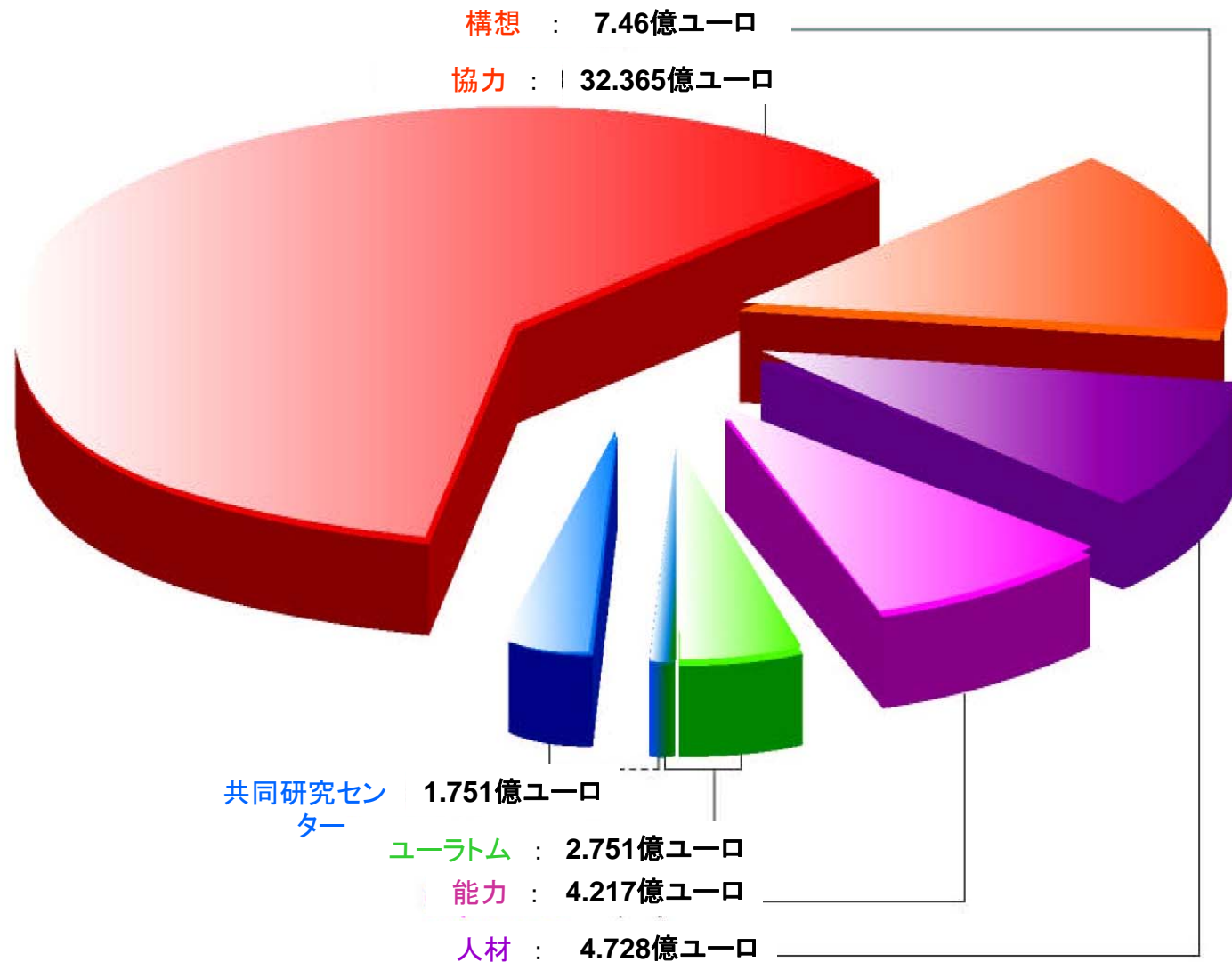
+

JRC: 共同協力センター (原子力関係を除く)

JRC: 共同協力センター (原子力関係)

ユーラトム

FP7 予算の内訳(540億ユーロ)



FP7 2007 – 2013年

協力

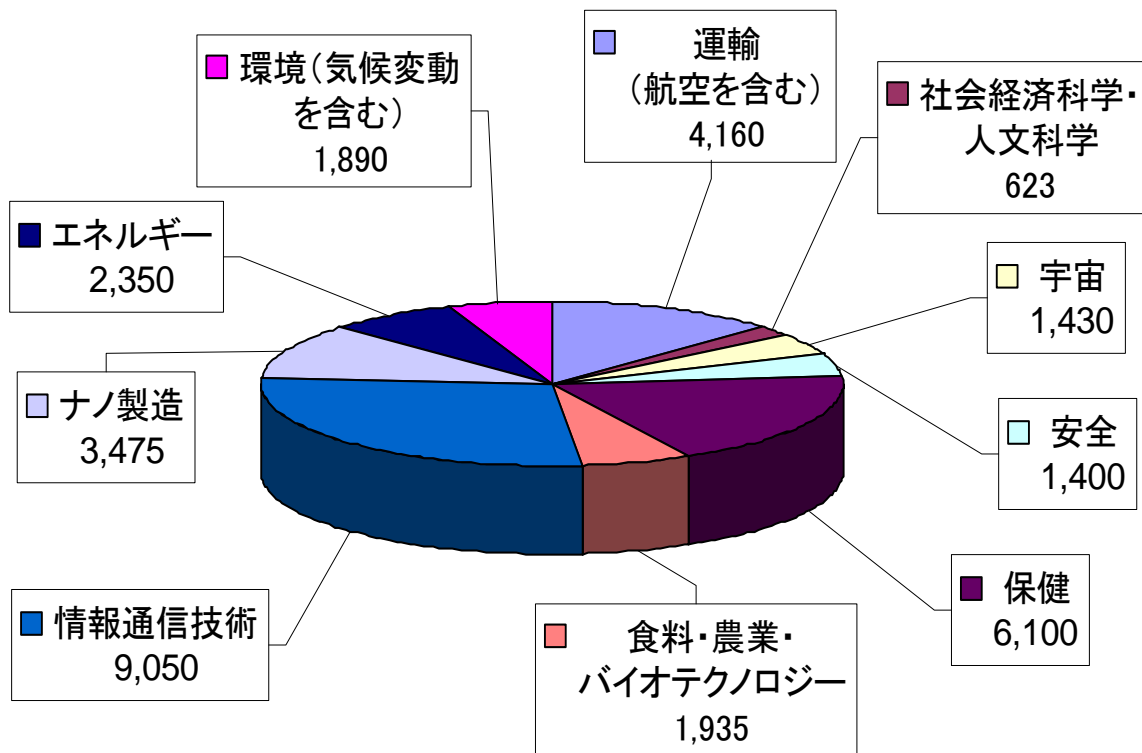
324億1,300万ユーロ

1. 保健
2. 食料・農業・バイオテクノロジー
3. 情報通信技術
4. ナノサイエンス・ナノ技術・材料・新生産技術
5. エネルギー
6. 環境(気候変動を含む)
7. 運輸(航空を含む)
8. 社会経済科学・人文科学
9. 宇宙
10. 安全



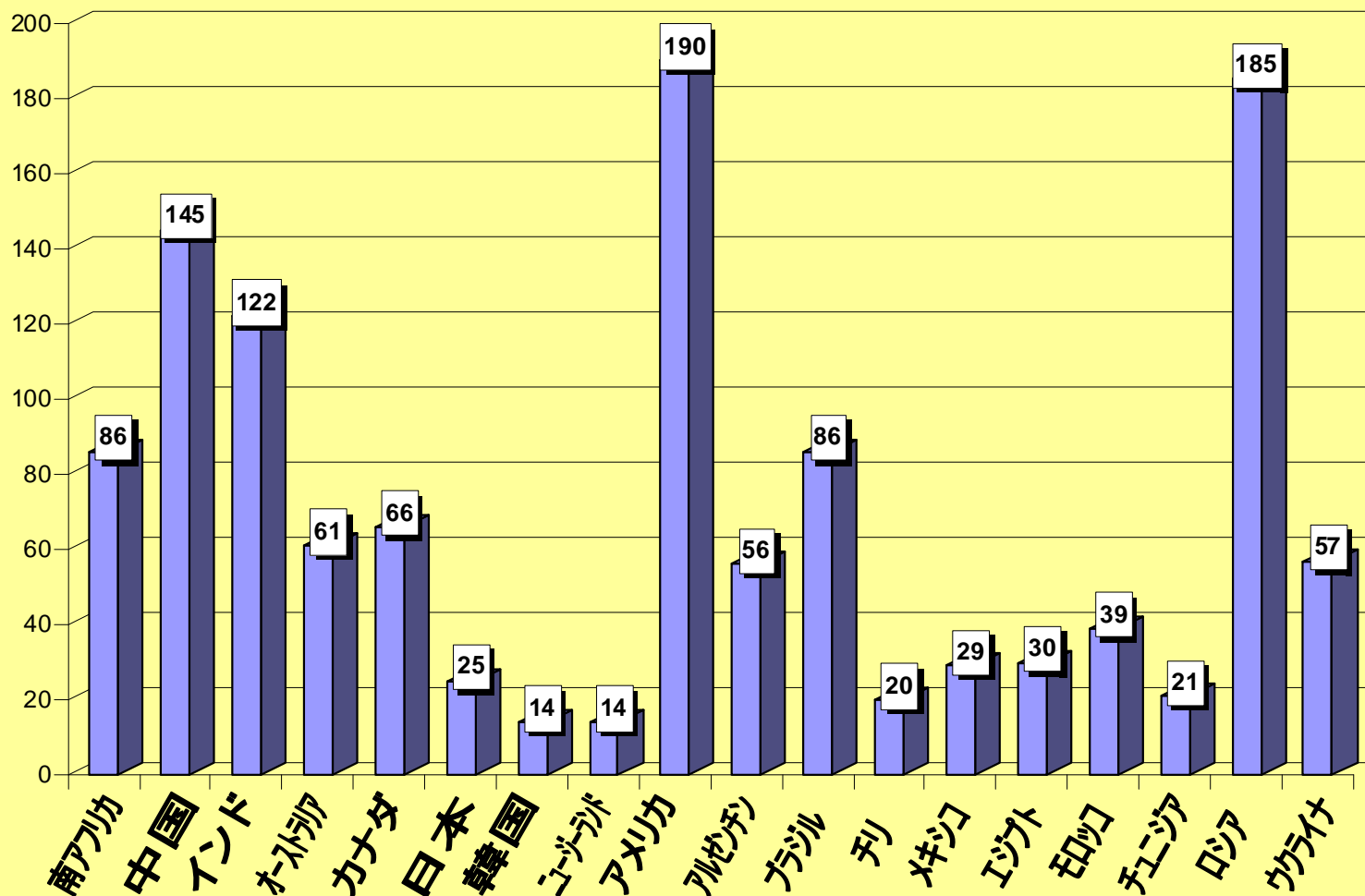
協力：324億1,300万ユーロ

協力プログラムの内訳 (単位100万ユーロ)





COOPERATION / ALL THEMATIC AREAS
SELECTED COUNTRIES: 1246 APPLICATIONS MAIN LISTED





EUROPEAN
COMMISSION

Community Research

提案募集

<http://cordis.europa.eu/fp7>





ご清聴ありがとうございました

駐日欧州連合代表部 公式ホームページ

www.deljpn.ec.europa.eu



The screenshot shows the official website of the Delegation of the European Union to Japan. The header features the EU flag and navigation links. The main content area includes a large photo of the delegation members, a 'Latest News' section with several headlines from February 2010, and a 'Topics' section listing various EU programs and initiatives. A sidebar on the left highlights 'Climate Action' and 'Solidarity with Haiti'.

本発表で表明された見解や意見は、必ずしも欧州連合としての見解を示すものではありません。